

# 週刊イマドキ学生新聞 FOCUS あなたの世界が、ちょっと広がる。

## vol.225

「梅田ダンジョン」とも揶揄されるほど複雑な大阪梅田地下街。大阪市北区にあるこの地下街の詳細な構造を示した図面が、今年3月に発表された。各地下街が個別に管理していた設計データを統合し、各地下街の高低差や海拔基準との関係を明らかにした。大阪市でも浸水対策が進んでいる。

大阪梅田地下街は、地下街管理会社や鉄道会社、工業業者など、個別に管理され、全体の構造を詳細に把握できる図面はなかった。しかし大阪市立大学の谷口与史也教授（建築構造学）と当時大学院生だった合田祥子さん（都市系建築学専攻）ら5人の研究グループが詳細な構造を解明。地下街には最大約7メートルの高低差があることを初めて明らかにした。そして大阪湾の潮位との高低差（O.P.）が、JR北新地駅周辺が最も深くマイナス8・2メートルで、一番浅いJR大阪駅周辺ではマイナス1・5メートルだったことも判明した。地下街のどこから浸水していくかを計算する手がかりになる。大阪は今年3月、



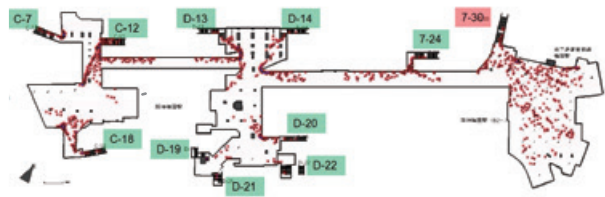
大阪梅田地下街の全体像と高低差を示した図面

大阪府、市内の地下街の管理会社、鉄道会社、ビル会社などが参加して浸水からの避難計画を立てる、「大阪市地下空間浸水対策協議会」を設置した。

一方、谷口教授は同大の瀧澤重志准教授（建築計画計算機科学）と共同で、図面を使った避難シミュレーションを進めている。南海トラフ巨大地震で津波が発生したとき、大阪梅田地下街までの到達予想時間は120分。地下街から避難にかかる時間を予測し、時間短縮の対策を練っている。現在のシミュレーションでは、避難開始から23分で地下街からの避難が完了する計算だ。しかし、この予測は避難指示が出てから客がすぐ避難を始め、地下街

# 攻略「梅田ダンジョン」

## —避難ミッションをクリアせよ—



人々が避難を開始してから、10秒後（上）と50秒後（下）の人の流れ



から接続するビルに移動するまでの時間を計算している。他にも、津波がくると分かってから避難指示が出るまでの時間、人々が地下街から地上に脱出するまでの時間、人々が地上から安全な高さまで移動する時間をシミュレーションに入れなければならない。二次災害による避難の遅れも考慮する必要があるという。火災や建物の崩落、淀川の氾濫が危惧される。動きの遅い避難者がいたり、階段で将棋倒しが起こる可能性もある。さらに、地下の状況だけでなく、地上にいる人々の避難やビルの中に避難するスペースが確保できるかについても計算に入れなければならない。「避難できなかったとき」考

えていなかった」では済まない」と谷口教授は注意を促す。

地下街は「カ所でもどこからか水が入ったら、接続する全域が浸水する。しかし、地下街での浸水や津波に対する人々の危機意識は低い。地下街の管理会社で協議会に参加しているのは5割強。「最終的には各店舗の責任者まで、すべての関係者に参加してもらい、実地で避難訓練を行なうことが理想」と谷口教授は話す。

防災対策は大阪梅田地下街の大きな問題の一つ。もし突然梅田で浸水警報を聞いたとき、あなたは一人で避難できるだろうか。

（聞き手＝田中香子）

## UNN 関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会	関西大学タイムス編集部
同志社大学 PRESS 編集部	神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
NEWS 立命通信社	京都女子大学藤花通信編集部
関学新月通信社	京都大学 CLOCK 編集部
大阪大学 POST 編集部	

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式 HP) <http://www.unn-news.com/>  
■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F  
(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)